

エジプト 今年も高品質のクレメンタインを供給

[FreshPlaza 2024年11月11日](#)

エジプト産のクレメンタインは、他の競合輸出国が大きな困難に直面している間に市場に入荷する。ジャナフレッシュ社の開発マネージャーであるイブラヒム・ガダラー氏によると、「今年、エジプトは高品質のクレメンタインを求めて訪れるべき場所である。」(以下「」は同氏の話)

「我々は従来から、クレメンタイン部門で世界の様々なプレーヤーとの激しい競争に直面している。しかし、近年、気候変動の結果として、競合する原産国が困難を経験している。今シーズンはこれがさらに当てはまり、スペインの洪水やモロッコの干ばつが需要と供給のダイナミクスに影響を与えている。これはもちろん我々にとって助けとなるが、エジプトの輸出量に大きな変化があるとは思わない。」

「クレメンタイン部門では、エジプトの業者は量よりも質を重視している。このため、個人的には、自然な年間成長率が維持されると見ている。現在の競争の状況は、市場シェア獲得の機会を生み出すだろうが、何よりも公正な価格を獲得することが重要である。忘れてはならないのは、エジプトにいる我々もまた、リソースの制約や物流上の困難などの課題に直面していることである。」

「エジプトは、今シーズン、高品質のクレメンタインを一貫して出荷できる数少ない原産国の1つであり、輸出業者の観点からは、市場の数量不足を埋めようとするのではなく、品質基準を反映した価格設定を行うことが最善である。シーズンの始まりは、昨シーズンと比べてこの選択を信じる十分な理由を与えている。」

ガダラー氏によると、今シーズンのエジプト産では品種の選択に大きな変化はない。「エジプトで最も多く栽培されているソフト柑橘類は、ハニーモーコット、フリーモント及びミラヴである。これらよりは少ないがミネオーラも入手できる。弊社では、クレメンタインが年間販売量の15~20%を占めており、出荷期間は11月から2025年4月までである。」

執筆者: ユーネス・ベンサイド

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

南アフリカ アボカドは世界市場の課題に直面

[FreshPlaza 2024 年11月12日](#)

南アフリカのアボカドは世界市場の課題に直面しており、解決策を求めている

ムプマランガ州ホワイトリバー市で開催された亜熱帯果実生産者協会(Subtrop)のマーケティングシンポジウムでは、業界の専門家が世界市場で南アフリカ産アボカドが直面している課題について議論した。同国は2,050万箱(4kg/箱)のアボカドを輸出し、35億ランド(約300億円)の経済的貢献があった。市場アクセスの進展にもかかわらず、食料農業政策局のトレイシー・デイビッツ氏は、不均一な輸入関税の問題を強調した。インドでは、南アフリカは30%の輸入関税が課せられるが、タンザニアは無税アクセスの恩恵を受けている。

同協会のデレック・ドンキンCEOは、南アフリカ産アボカドに厳しい処理要件を課しているインド及び中国と関税引き下げ交渉を行い、植物検疫障壁に対処する必要性を強調した。日本は2°Cで19日間の低温処理を求めているため、南アフリカ産アボカドの日本向けの輸出期間が限定されている。ドンキン氏はまた、国内産業を保護するために自由貿易協定に代わる案を模索することの重要性についても言及した。

同協会と果実生産者協会(Fruit SA)は、国際競争力を強化するために、輸入農業資材のコストを削減する方法を研究している。農業ビジネス会議所(Agbiz)のワンディレ・シロボ氏は、現在世界の農産物貿易の半分を占めるBRICS+ブロック内で貿易を拡大することの潜在的な利点を指摘した。同氏は、世界的な保護主義の傾向の中でBRICS+内で拡大する貿易機会を活用するため、インド、中国、エジプト、アラブ首長国連邦等主要国との輸入関税引き下げ交渉に注力することを提唱した。

出典: [Farmer's Weekly](#)